

平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年6月18日

上場会社名 株式会社 サンワドー

上場取引所 JQ

コード番号 7430 URL <http://www.sanwado.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 勝弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 渡邊 正志

TEL 017-782-3200

四半期報告書提出予定日 平成22年7月2日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年2月21日～平成22年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	6,773	△3.8	115	90.5	89	143.7	△14	—
22年2月期第1四半期	7,042	—	60	—	36	—	△22	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	△2.81	—
22年2月期第1四半期	△4.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	17,963	4,284	23.9	811.54
22年2月期	17,566	4,361	24.8	826.11

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 4,284百万円 22年2月期 4,361百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	—	—	10.00	10.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年2月21日～平成23年2月20日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	14,960	2.4	200	24.3	186	44.0	93	609.3	17.61
通期	29,600	1.8	430	7.8	380	18.2	130	19.9	24.62

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期第1四半期 5,280,000株 22年2月期 5,280,000株

② 期末自己株式数 23年2月期第1四半期 359株 22年2月期 359株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 23年2月期第1四半期 5,279,641株 22年2月期第1四半期 5,279,641株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年4月5日発表の連結業績予想は、修正しておりません。上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであるため、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成22年2月21日～平成22年5月20日）における国内経済は、輸出関連企業を中心に業績回復基調にあるものの、企業の設備投資は依然として低水準にあり失業率、有効求人倍率も好転の兆しが見えず雇用の不安から、個人消費の低迷が続いております。

このような環境の中、前年に引続き、お買得商品の品揃えを充実し「家計応援」ロープライス戦略を展開いたしました。特に好調な食品部門を強化する一方、人時生産性向上による人件費の削減、広告宣伝費等販売費及び一般管理費の節減に努めました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、好調な食品部門が前年同四半期比13.7%増加し、家電部門もエコポイント制度効果により前年同四半期比1.5%増加しました。しかしながら、春先の低温続きが響き、ペット&グリーン部門が花苗、肥料、培養土等の売上が不振で前年同四半期比10.8%減少した他、カー・レジャー部門も前年の高速道路料金割引制度によるETC、ナビゲーション特需の反動から前年同四半期比10.7%減少しました。また、ブランド部門が11.5%、DIY部門が6.8%、リビング部門が6.6%、それぞれ前年同四半期比減少し、全体の売上高は、6,773百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

営業利益は115百万円（前年同四半期比90.5%増）、経常利益は89百万円（前年同四半期比143.7%増）と増益となりました。これは人時生産性向上による人件費削減、広告宣伝費の見直し、不動産賃借料の減額等販売費及び一般管理費を節減したことによります。当社グループは、適格年金制度を廃止し、確定拠出年金制度及び退職一時金制度へ移行することにより、退職給付制度終了損として105百万円を特別損失計上したため、当第1四半期連結累計期間は14百万円の純損失（前年同四半期は22百万円の純損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ396百万円増加し、17,963百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ435百万円増加し、5,606百万円となりました。主に、春物商戦向け品揃えにより商品及び製品が252百万円増加、期末の閑散期に比べ売上高増の期間であり、現金及び預金が107百万円、受取手形及び売掛金が59百万円増加したものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ521百万円減少し、8,566百万円となりました。主に、販売に向けての仕入高増により、短期借入金405百万円、支払手形及び買掛金300百万円増加しましたが、約定による一年内返済予定の長期借入金1,258百万円減少したものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ994百万円増加し、5,112百万円となりました。主に、運転資金調達による長期借入金638百万円、社債250百万円及び退職給付制度の移行等により退職給付引当金が116百万円増加したものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、4,284百万円となりました。主に、利益配当金の支払い52百万円、当四半期純損失14百万円及びその他有価証券評価差額金9百万円の減少によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は412百万円となり、前連結会計年度末比93百万円の増加となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、98百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の増加252百万円、売上債権の増加61百万円ありましたが、仕入債務の増加301百万円、退職給付制度終了損105百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、14百万円となりました。

これは主に、定期預金の預入による支出34百万円、敷金及び保証金の差入による支出26百万円、有形固定資産の取得による支出9百万円ありましたが、敷金及び保証金の回収による収入63百万円、定期預金の払戻による収入20百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、17百万円となりました。

これは主に、社債の純増254百万円ありましたが、配当金の支払額51百万円、長・短借入金の純減215百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当該四半期における業績は概ね当初計画どおりに推移しており、平成22年4月5日付決算短信の第2四半期連結累計期間並びに通期の業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
 - ・簡便な会計処理
重要性が乏しいため記載を省略しております。
 - ・四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理
該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	448,896	340,944
受取手形及び売掛金	388,917	328,958
商品及び製品	4,551,618	4,298,682
繰延税金資産	70,240	62,170
その他	148,386	141,343
貸倒引当金	△1,115	△1,119
流動資産合計	5,606,942	5,170,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,257,270	2,298,449
土地	5,459,300	5,459,300
その他(純額)	63,532	60,610
有形固定資産合計	7,780,103	7,818,361
無形固定資産	23,355	23,718
投資その他の資産		
投資有価証券	873,591	884,450
敷金及び保証金	3,156,099	3,193,204
繰延税金資産	133,318	83,563
その他	400,988	403,727
貸倒引当金	△11,045	△11,092
投資その他の資産合計	4,552,951	4,553,853
固定資産合計	12,356,410	12,395,932
資産合計	17,963,353	17,566,913
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,484,402	3,183,792
短期借入金	1,765,000	1,360,000
1年内返済予定の長期借入金	1,646,866	2,905,696
1年内償還予定の社債	930,000	910,000
未払法人税等	58,187	88,200
賞与引当金	59,210	29,605
役員賞与引当金	3,551	7,100
ポイント引当金	56,892	60,756
その他	562,573	542,939
流動負債合計	8,566,683	9,088,089

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
固定負債		
社債	1,390,000	1,140,000
長期借入金	3,348,439	2,709,753
退職給付引当金	201,869	85,252
役員退職慰労引当金	67,880	72,870
その他	103,822	109,385
固定負債合計	5,112,010	4,117,260
負債合計	13,678,694	13,205,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	2,840,179	2,907,817
自己株式	△163	△163
株主資本合計	4,291,846	4,359,484
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,187	2,079
評価・換算差額等合計	△7,187	2,079
純資産合計	4,284,658	4,361,563
負債純資産合計	17,963,353	17,566,913

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)
売上高	7,042,438	6,773,191
売上原価	5,530,205	5,292,890
売上総利益	1,512,232	1,480,301
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	551,867	513,568
広告宣伝費	100,594	87,825
不動産賃借料	255,042	240,690
賞与引当金繰入額	29,290	29,605
役員賞与引当金繰入額	3,550	3,551
ポイント引当金繰入額	52,815	56,892
退職給付費用	5,879	11,025
その他	452,762	422,021
販売費及び一般管理費合計	1,451,801	1,365,181
営業利益	60,431	115,120
営業外収益		
受取利息	3,335	3,154
受取配当金	217	288
不動産賃貸料	9,397	9,200
その他	17,831	15,439
営業外収益合計	30,782	28,083
営業外費用		
支払利息	40,083	32,733
社債発行費償却	9,039	15,645
支払保証料	2,510	1,910
その他	2,704	3,030
営業外費用合計	54,338	53,320
経常利益	36,875	89,883
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	—	930
貸倒引当金戻入額	—	124
特別利益合計	—	1,054
特別損失		
たな卸資産評価損	93,842	—
減損損失	8,489	—
退職給付制度終了損	—	105,591
その他	380	—
特別損失合計	102,713	105,591
税金等調整前四半期純損失 (△)	△65,837	△14,653
法人税、住民税及び事業税	17,129	54,440
法人税等調整額	△60,144	△54,252
法人税等合計	△43,014	188
四半期純損失 (△)	△22,823	△14,841

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△65,837	△14,653
減価償却費	47,987	47,794
減損損失	8,489	—
退職給付制度終了損	—	105,591
たな卸資産評価損	93,842	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△184,057	△61,347
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△66,554	△252,935
仕入債務の増減額 (△は減少)	732,359	301,330
その他	115,116	74,182
小計	681,345	199,962
利息及び配当金の受取額	3,714	3,876
利息の支払額	△41,261	△41,173
保険金の受取額	6	11,615
法人税等の支払額	△11,164	△75,776
営業活動によるキャッシュ・フロー	632,640	98,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,339	△9,174
投資有価証券の取得による支出	△24,176	△1,979
敷金及び保証金の差入による支出	△26,856	△26,491
敷金及び保証金の回収による収入	66,283	63,608
その他	△6,460	△11,357
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,451	14,605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	1,265,000
短期借入金の返済による支出	△1,040,000	△860,000
長期借入れによる収入	1,000,000	1,215,000
長期借入金の返済による支出	△366,214	△1,835,144
社債の発行による収入	490,960	584,354
社債の償還による支出	△410,000	△330,000
配当金の支払額	△50,032	△51,450
その他	△4,957	△5,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△330,243	△17,345
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,238	△1,807
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	306,610	93,955
現金及び現金同等物の期首残高	273,494	318,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	580,105	412,173

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至平成21年5月20日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至平成22年5月20日)

小売業の売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計額及び営業利益に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至平成21年5月20日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至平成22年5月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至平成21年5月20日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至平成22年5月20日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

商品別売上状況

(単位：千円、%)

区 分		前第1四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年5月20日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年5月20日)		前年 同期比	(参考) 前期 (平成22年2月期)	
		金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
小 売	リビング	1,667,931	23.7	1,558,508	23.0	93.4	7,117,318	24.5
	ペット&グリーン	1,247,245	17.7	1,112,845	16.4	89.2	4,415,663	15.2
	カー・レジャー	1,178,399	16.7	1,051,895	15.5	89.3	4,254,275	14.6
	食 品	1,271,707	18.1	1,445,554	21.3	113.7	5,845,694	20.1
	D I Y	536,336	7.6	499,832	7.4	93.2	2,260,907	7.8
	家 電	478,022	6.8	485,094	7.2	101.5	2,347,430	8.1
	ブ ラ ン ド	365,940	5.2	323,933	4.8	88.5	1,596,368	5.5
	そ の 他	180,800	2.6	173,503	2.6	96.0	755,518	2.6
小売計		6,926,383	98.4	6,651,168	98.2	96.0	28,593,177	98.4
卸売		116,054	1.6	122,022	1.8	105.1	473,113	1.6
合計		7,042,438	100.0	6,773,191	100.0	96.2	29,066,291	100.0

(注) 1. 数量については取扱商品が多岐にわたり数量表示が困難なため記載を省略いたしました。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 小売部門の商品別の各構成内容は、次のとおりであります。

(1) リビング

(日用雑貨、季節・催事用品、家庭用品、衣料・服飾、文具、インテリア、シューズ、玩具、CD、100円ショップ、たばこ)

(2) ペット&グリーン

(園芸用品、ペット用品)

(3) カー・レジャー

(カー用品、釣り用品、スポーツ・レジャー用品、自転車)

(4) 食品

(食品、業務スーパー、酒)

(5) D I Y

(大工用品、エクステリア用品、リフォーム)

(6) 家電

(7) ブランド

(8) その他